

中国の大学教育におけるデザイン教育の動向（その1）

On the Higher Education of Design in China (1)

黒田 宏治

デザイン学部生産造形学科

Kohji KURODA

Department of Industrial Design, Faculty of Design

佐井 国夫

デザイン学部生産造形学科

Kunio SAI

Department of Industrial Design, Faculty of Design

2008年8月に上海市及び杭州市を訪ね、中国のデザイン教育動向の調査を行った。近年、中国では大学数、学生数が急激に増加するなかで、デザイン系の学科を有する大学は500前後、学生数は100万人近いと考えられる。すでに量的には過飽和と言われており、今後はより総合的なデザイン教育の推進、教員スタッフの充実が課題である。

We visited Shanghai and Hangzhou in August, 2008, and did investigation of the design education trend in China. Recently, while the number of Higher Education Institutions and the number of students increase rapidly, the number of HEIs which has a design department is about 500, and it can guess that the number of the students is nearby one million people, in China. The number of students of design has already been said as the over-saturation quantitatively, and the promotion of the synthetic design education and the fulfillment of the teacher staff are subjects in the future.

本年（2008年）8月に、中国の上海市及び杭州市のデザイン系大学を訪ね、関係教員にデザイン教育動向に関してインタビューを行う機会を得た。8月7日、中国美術学院（杭州市）張遠帆氏（造形芸術学院版画系教授）及び陳曉蕙氏（設計芸術学院工業設計系教授）訪問、8月9日、同済大学（上海市）朱鐘炎氏（建築与城市規画学院芸術設計系教授）訪問の旅である。本稿では、そこで得られた情報等に基づき中国のデザイン教育動向の一端について報告する。

1. 中国の大学デザイン教育の動向

(1) 大衆化しつつある中国の大学教育

中国では、近年になって大学数が急速に増加している¹⁾。10年前（1996年）には約1,000校であったが、2000年を境に急速な増加に転じ、2006年には1,867校を数えるに至っている。大学の入学生数も急速に増加し、1990年には約60万人であったのが、1996年には96.6万人、2001年には268.3万人、そして2006年には546.1万人に達するなど、過去5年間に2倍、過去10年間では6倍近い伸びを示している。なお、2006年の在学総数は1,738.8万人となっている。大学への進学率は、1990年には3.4%であったが、1990年代半ば以降上昇を続け、2002年には15%を超え、2006年には22%と、すでにエリート教育段階か

ら大衆教育段階に移行した。さらに2020年には40%にまで伸張するとの予測もある²⁾。また、近年の教員数の増加も著しく、2001年以降毎年10万人前後の増加を示し、2006年には大学の専任教員数は107.6万人となっている。ちなみに、現在日本では大学の数は756、学生数は約250万人、入学生数は約60万人、教員数は16.7万人であり、過去10年間に大学数、教員数には増加も見られるが学生関係は微増にとどまり、中国ほどの大きな変化は見られない³⁾。

中国におけるデザイン系学科を有する大学数や学生数については、既存統計の範囲からでは判然としないが、「過去10年ぐらいの間に大学という大学全部にデザイン関係の学部や学科ができたのではないか」⁴⁾とも言われるほど、近年の増加は著しいようである。また、「デザイン学科のある大学数が急速に増加している。80年代の初め頃の数校から、90年代の初め頃に数十校、現在既に400校以上になっている。」⁵⁾、「今の北京市内では、国家教育部と北京市教育委員会に属する高等院校が約80校程度で、その半分ぐらいの学校には、デザインコースを設置している。」⁶⁾などの記述も見受けられるところである。なお、デザイン系学科の多くは芸術系に区分されるようであるが、芸術系の入学生数については2001年に11.3万人（推計）であったものが、2006年には32.3万人となっている。過去5年間で約3倍となっており、大学全体の

入学生の伸びを大きく上回っている。芸術系の学生数は2006年には約百万人にまで増加している。

(2) 急速に増加するデザイン系学科・学生数

今回の中国訪問インタビュー調査を通じて、杭州市におけるデザイン教育の概況を把握することができたので、そこから中国全体の大学デザイン教育の規模の推計を試みる。「杭州市内のデザイン関係の学部・学科を有する主な大学は13校」⁷⁾とのことであるので、ここでは15校と想定する。一方で「浙江省80%以上の大学と科学研究機関は杭州に集中している。」⁸⁾とされており、そこから浙江省内にはデザイン系学科を有する大学は18校との試算が行える。そこで人口比率を勘案すると中国全土では約480校との見方が成り立ちそうである。ちなみに前述の400校以上との記述が2003年時点のことと察せられるので、その後2006年までに大学数が20%増であることを勘案すると、現時点では480校以上ということになる。また、前述に「今の北京市内では…半分ぐらいの学校には、

デザインコースを設置している。」⁹⁾とあるが、同じ報告書には広東省内の大学71校のうち20校にデザイン系学科が設置されているとの調査結果¹⁰⁾も掲載されており、広東省のデザイン系学科設置比率28%を標準とすると、中国全国1,867校(2006年)のうち約530校と算出することができる。以上の試算を総合すると、現在なお増加途上にあると察せられるが、現時点では中国全土でデザイン系学科を有する大学は500校前後あるとの目安が立てられそうである。

次にデザイン系学科の学生数に関する推計を試みる。「いま浙江省内では美術系の大学入学生は毎年8~9千人ぐらいであるが、その90%がデザイン関係である。」¹¹⁾とされている。ただ美術系のほかに工学系に設置されるケースも見受けられるので、そこから浙江省内のデザイン系の入学生数を9,000人と仮定し、人口比率を勘案すると1学年のデザイン系学生は中国全国で約23万人と試算することができる。また、「中国全国で工業デザイン関係の学生は18万人という数字を聞いたことがある」¹²⁾との情報を拠り所に、「正式

表1 中国の大学数・学生数等の推移

年	大学	専任教員	入学生 (芸術)	在学生 (芸術)	卒業生 (芸術)
1980	675	24.7	28.1	114.4	14.7
1985	1016	34.4	61.9	170.3	31.6
1990	1075	39.5	60.9	206.3	61.4
1995	1054	40.1	92.6	290.6	80.5
1996	1032	40.3	96.6	302.1	83.9
1997	1020	40.5	100.0	317.4	82.9
1998	1022	40.7	108.4	340.9	83.0
1999	1071	42.6	159.7	413.4	84.8
2000	1041	46.3	220.6	556.1	95.0
2001	1225	53.2	268.3 (11.3)	719.1	103.6
2002	1396	61.8	320.5 (13.7)	903.4	133.7
2003	1552	72.5	382.2 (18.0)	1108.6	187.7
2004	1731	85.8	447.3 (23.4)	1333.5 (65.2)	239.1 (10.2)
2005	1792	96.6	504.5 (29.5)	1561.8 (81.5)	306.8 (12.3)
2006	1867	107.6	546.1 (32.3)	1738.8 (97.5)	377.5 (16.2)

*資料：中華人民共和国国家統計局編「中国統計年鑑2007」(中国統計出版社)ほか
<http://www.stats.gov.cn/tjsj/ndsj/2007/indexch.htm>

*注1：専任教員、入学生、在学生、卒業生は、いずれも万人。(芸術)は芸術分野の内数である。

*注2：2001~2003の入学生(芸術)については、入学生の90%が4年後に卒業したと仮定して算出した。

な統計ではないが、中国全土で工業デザインだけで14,000～18,000人の卒業生が社会にでており……」¹³⁾との記述（2003年度調査）、芸術系卒業生は過去3年で2倍近い増加と察せられることも考え併せるならば、工業デザイン分野で1学年あたり4.5万人という数字も妥当な範囲と思われる。とするならば、杭州市内のデザイン系学科設置状況（表2）からデザイン系学生数は工業デザイン系学生の5倍前後と想定すれば、現在なお増加途上にあると察せられるが、一つの目安として1学年あたり20万人以上、在学生全体では80～100万人程度と考えられる。

（3）デザイン教育の特性と課題

このように近年、かなり急速に大学のデザイン教育の場が拡大しているが、その全体像を杭州市内を例に俯瞰するならば、日本とはやや異なる中国における大学デザイン教育の様相も窺えるところである。まず、デザイン系の学部（芸術設計学院等）が、かなり多様な大学に設けられているというところである。総合大学、芸術系大学をはじめ理工系、商業系、教育系などを母体とする大学にも独立学部として設置されていることがわかる。また、デザイン系学科の領域の広がりについてであるが、学科名称より製品デザイン（工業設計、産品設計など）、グラフィックデザイン（平面設計、視覚伝達など）、環境デザイン（環境芸術設計など）に加え、ファッション関連（服飾設計、染織設計など）、アニメーション関連（動画など）の学科も少なくない。特にアニメーション関連の学科が目立つところは日本の大学デザイン教育と相違するところといえよう。

また、急速な大学デザイン教育の拡大に伴う歪みとも言える構造的な問題も、中国デザイン教育界では指摘されているところである。まず、デザイナーの過剰感、デザイン教育の飽和感が出始めていることである。中国では、デザインはかつていい創造的な仕事として若者の間で高い人気があり、そのため教育の有望分野と見なされ、各大学でデザイン系学科の新設が進められてきた経緯がある。それにより卒業生も急増しているが、すでに産業界においてはデザイナーの過剰感も言われ始め

ている。また、中国のデザイン系学科では、美術系の造形重視のデザイン教育が主流であるが、一方企業の採用側では技術系デザイン人材へのニーズが高まるなど、ミスマッチも生じ始めているようでもある。近い将来、デザイン系卒業生がさらなる増加が見込まれるなか、なかには廃止に追い込まれるデザイン系学科もあるのではとの憶測も出始めるなど、中国のデザイン教育界はかなり危機的な状況を迎えているとの指摘も頷けるところである。

もう一つは、教員充実の必要性である。いま中国のデザイン教育では、若手教員の増加が著しいが、教員の実力不足を指摘する声も少なくない。従来は、研究経験、留学経験、実務経験などの相当の経験者が大学の教職に就き、学生教育等の任にあたってきたが、デザイン系学科の急速な新增設が進められるなか、経験者からの登用だけでは教員確保が難しくなり、老舗大学デザイン系学科等からは卒業後すぐに大学教員に登用されるケースも珍しくないほどであったようである。その結果、特にデザイン教育では実践的教育の重要性も高いが、そのような経緯から実践的内容に即した教員スタッフの整備が行えない大学・学科も少なくないようで、それに対する学生の不満も多いと聞かすが、一方で教育品質の低下傾向も懸念されるところである。デザイン教育の将来を展望するなかで、避けて通れない基本的な課題と言えよう。

2. 同済大学のデザイン教育 （建築与城市規画学院芸術設計系）

（1）芸術デザイン学科の概要

同済大学は、国家教育部（日本の文部科学省に相当）直属の重点大学であり、研究中心型の総合大学として国内外で高く評価されている。1907年にドイツ人医師により設立された同済徳文医学堂を前身に、1912年に工学部門を併設、1927年に国立大学となった。1946年には理・工・医・文・法の5部門からなる総合大学となり、1952年の大学改革後には土木工学の重点大学に指定されている。その後、数度の合併等を経て、今日では82学士課程、218修士課程、学生総数5万人以上、教員・研究員4,200人を擁するに

表2 デザイン系学科を有する杭州市内の主な大学

大学名・デザイン系学科	備 考
①中国美術学院	・1928年に中国最初の芸術系総合大学として設立(国立芸術院)。50年に中央美術学院(北京)に統合され分院となる。58年に独立(浙江美術学院)、93年に現名称。
・設計芸術学院 平面設計系 染織・服飾設計系 工業設計系 総合設計系 設計芸術学系	・1928年設置の図案系に始まる。86年に工芸系。96年に工芸系は平面設計系、染織・服飾系、工業設計・陶芸系に分化。2003年に設計芸術学院は設置され、現在に至る。 ・学生数1400人、教員数83人(うち教授16人、副教授14人)
・伝媒動画学院 動画系 撮影系 影視広告系	・2002年に設置された動画系を核に04年に伝媒動画学院は設置された。 ・学生数750人、教員数47人(うち教授2人、副教授7人)
・建築芸術学院 建築芸術系 城市設計系 景観設計系 環境設計系	・建築学科は1928年に始まる。89年に環境芸術系。2007年に建築芸術学院が設置された。 ・学生数750人、教員数39人(うち教授4人、副教授8人)
②浙江大学	・1897年創設の求是書院を前身に、1928年に浙江大学となる。52年に教育改革で複数の単科大学に分割。98年に旧・浙江大学、杭州大学、浙江農大、浙江医大が合併し、現・浙江大学となる。
・計算機科学技術学院 工業設計系	・2002年に同学院は設立された。同学院には他に計算機科学技術系、数字媒体ネットワーク技術系がある。
③浙江工業大学	・1953年創設の浙江化工学校を前身に、60年浙江化工学院。91年より現名称。
・芸術学院 芸術設計 環境設計(景観設計、建築・室内設計) 視覚伝達設計(平面設計、多媒体設計) 公共芸術設計 工業設計 動画設計(動画芸術、数字動画)	・芸術学院は2002年に設立。 ・学生数1200名、教員70名(うち教授8名、副教授13名)
④浙江理工大学	・1897年創設の蚕学館を前身に、浙江蚕桑学校、浙江絲綢工学院などを経て、2004年に現名称。
・芸術設計学院 芸術設計(視覚伝達設計、環境芸術設計) 工業設計(産品設計、家具設計) 動画 広告学 美術学(商業挿画)	・1979年に芸術設計コースを設置、85年に服装系、99年に服装・芸術設計学院、2004年に芸術設計学院と服装学院を設置。 ・学生数(本科生)2000名、教員120名。
・服装学院 服装設計与工程学科 設計芸術学学科(服装芸術設計、染織芸術設計、服飾品設計、人物造型設計等)	・学生数3000名(大学院含む)、教員130名
⑤浙江工商大学	・1911年創設の杭州中等商業学堂を前身に、80年に杭州商学院、2004年に現名称。

<ul style="list-style-type: none"> ・芸術設計学院 ・芸術設計系(環境芸術設計、視覚芸術設計) ・動画系 	<ul style="list-style-type: none"> ・1993年に芸術設計コース設置、2001年に芸術設計学院を設置。 ・学生数1000名、教員数60名(うち教授4名、副教授6名)。
<p>⑥浙江财经大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術学院 ・平面設計系 ・室内・展示設計系 ・撮影系 	<ul style="list-style-type: none"> ・1974年創設の浙江財政銀行学校を前身に、84年より浙江財經学院。 ・人文芸術学院の芸術設計系、撮影系をベースに2007年6月に芸術学院設立。 ・学生数620名、専任教員26名(うち教授2名、副教授5名)。
<p>⑦浙江林学院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術設計学院 ・視覚伝達系 ・撮影系 ・服装設計系 ・美術基礎系 	<ul style="list-style-type: none"> ・1958年創設の高等林業院校・天目林学院を前身に、60年の浙江衣学院との合併などを経て、66年に浙江林学院となる。 ・1985年に園林系、2002年に園林・芸術学院、2005年に芸術設計学院。 ・学生数は869名、専任教員は57名。
<p>⑧杭州電子科技大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械工程学院 工業設計系 	<ul style="list-style-type: none"> ・1956年創設の杭州航空工業財經学校を前身に、80年に杭州電子工業学院、2004年に現名称。 ・機械工程学院は1980年設立。同学院には他に機械工程系、環境科学系がある。
<p>⑨浙江師範大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術学院 ・美術学系 ・芸術設計系 	<ul style="list-style-type: none"> ・杭州師範専科学学校を前身に1958年に杭州師範学院。その後合併などを経て1985年に現名称に。 ・1985年設置の芸術系美術コースをベースに、2001年に美術学院設立。
<p>⑩浙江科技学院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術設計学院(服装学院) ・芸術設計(服装芸術設計、視覚伝達設計、環境芸術設計、紡績品芸術設計) ・工業設計 ・動画 ・服装設計・工程 	<ul style="list-style-type: none"> ・1980年に浙江大学附属杭州工業専科学学校として設立、92年に杭州応用工程技術学院、2001年に浙江科技学院となる。 ・学生数1800人。
<p>⑪杭州師範大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術学院 芸術学/設計芸術学/美術学 	<ul style="list-style-type: none"> ・1908年創設の杭州師範学校を前身に、78年設立。
<p>⑫浙江伝媒学院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・影視芸術学院 ・動画学院 	
<p>⑬浙江樹人大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術学院 ・芸術設計(視覚伝達芸術設計、環境芸術設計、装飾芸術設計、工業設計) ・動画(二維動画、三維動画) 	<ul style="list-style-type: none"> ・1984年に創設。 ・専任教員約30名。

資料：大学の抽出は張遠帆(中国美術学院)による。各大学・学科の概要については各大学ホームページ情報(2008年8～9月)に基づき黒田が作成した。

至っている。

同済大学におけるデザイン教育は、1986年に建築・都市計画学院に工業デザイン専攻が設けられたのが始まりで、1993年に工業デザイン学科（工業設計系）に昇格となり、2000年には芸術デザイン学科（芸術設計系）に拡張され、現在に至っている。同済大学は、中国で最も早い時期にデザイン教育に着手した理工系大学の一つとされている。なお、建築・都市計画学院は建築学科（建築系）、都市計画学科（城市計画系）、芸術デザイン学科、景観学科（景観学系）の構成となっている。

芸術デザイン学科は、いずれも4年制の工業デザインと芸術デザインの2専攻からなり、後者はさらに環境デザイン（環境芸術設計）、視覚伝達デザイン（視覚伝達設計）、デジタルメディアデザイン（数字媒体設計）の3領域に分かれており、全体では工業デザインを加え4領域構成となっている。入試区分では、工業デザイン専攻は工学系、芸術デザイン専攻は芸術系に分かれており、後者については実技試験も課せられている。また、1993年に修士課程、2002年に博士課程が設けられている。

現在、芸術デザイン学科の学生数は536名（学部生396名、大学院生140名）、専任教員は31名である。各領域とも1学年の定員は25名であり、最近では女子学生が半数を占めるようになってきた。また、専任教員の職位別内訳は教授4名、副教授7名、講師22名となっている。中国の大学のデザイン系学科では実務経験を有する教員は少ないとされているが、同済大学の工業デザイン専攻では、教員9名のうち2名が元インハウスデザイナーであり、現在5名がデザイン事務所で実務に携わっており、実践的デザイン教育が展開されているものと察せられる。工業デザイン専攻の卒業生の多くは上海周辺の大企業（外国企業を含む）にデザイナーとして就職しており、良質な卒業生を輩出するとの高い評価も得られている。

また、ミラノ工科大学、ヘルシンキ芸術大学、英国王立芸術大学、千葉大学はじめ海外大学との学術交流やソニー、パナソニック、ノキア、ブラウン、VW、サムソンなど海外企

業との産学連携プロジェクトにも積極的に取り組んでいる。2006年には、米・ビジネスウィーク誌の世界のトップ60デザイン大学の一つに選ばれるなど、国際的にも高い評価を得るに至っている。¹⁴⁾

(2) 工業デザイン専攻の教育内容

工業デザイン専攻のカリキュラムは、一般教育（建築・都市計画学院の各学科共通の科目群）、基礎課程（芸術デザイン学科の共通科目群）、専門課程及び実践教育（工業デザイン専攻としての専門科目群）により構成されている。一般教育の各科目は主に1・2年次に、基礎課程の各科目は主に2・3年次に、専門課程及び実践教育の各科目は主に3・4年次に配置されており、教養・導入的内容の学習から工業デザインの基礎的内容（デザインの学習に必要な基礎的知識やスキルなど）の学習、そして工業デザインの実践的内容（演習・実習型、プロジェクト型など）の学習へと、学年進行に伴い段階的に専門性が深められるような履修の流れとなっている。

各区分の科目内容を見ると、一般教育の区分では、教養科目を除くと、情報処理、マルチメディアなど理数系基礎科目群、美術(1)～(4)などの美術系基礎科目群が中心に配置されている（いずれも必修科目）。基礎課程の区分では、製図、構成など表現系のスキル科目（いずれも必修科目）に加え、工業デザイン史、WEBデザインなどデザイン導入科目群、材料、機構など関連技術科目群（いずれも選択科目）が配置されている。また、専門課程及び実践教育の区分では、製品デザイン(1)・(2)（各8.0単位）、卒業研究（20.0単位）など、科目名称及び単位数規模から、まとまった内容の課題演習型の科目が中心と考えられる。それら3・4年次の科目の中で、産学連携プロジェクトにも取り組まれているようである。なお、いずれの区分においてもデザイン関連の人文・社会系科目は置かれていないようである。これより、同済大学の工業デザイン専攻におけるデザイン教育は、工学系の色濃いカリキュラムと言うことができるとともに、そこに現在の中国の産業界におけるデザイン人材ニーズの傾向も窺うことができる。¹⁵⁾

表3 同済大学工業設計系カリキュラム表

科目区分	科目名称	必修	単位	時間	学期別毎週時間配分								卒業単位
					1	2	3	4	5	6	7	8	
一般教育	社会情勢	○	0.0		1	1	1	1	1	1	1	1	61.0
	体育	○	4.0	136	2	2	2	2					
	大学英语	○	14.0	238	4	4	3	3					
	大学国語	○	2.0	34	2								
	軍事理論	○	1.0	17		1							
	中国近現代史	○	2.0	34	2								
	思想道徳修養と法律	○	3.0	34		2							
	毛沢東思想・鄧小平理論	○	6.0	68			4						
	マルクス主義原理	○	3.0	34					2				
	高等数学 (D)	○	4.0	68	4								
	情報処理基礎	○	2.5	34	2								
	VB	○	2.5	34		2							
	CAD 設計	○	2.5	34			2						
	マルチメディア技術	○	2.5	34				2					
	デザイン概論	○	1.0	17		1							
	美術 (1)	○	2.0	34	2								
	美術 (2)	○	2.0	34		2							
	美術 (3)	○	2.0	34			2						
	美術 (4)	○	2.0	34				2					
図学	○	3.0	51	3									
教養教育選択科目		11.0	249									11.0	
基礎課程	デザイン製図	○	6.0	102	6							14.5	
	構成デザイン	○	6.0	102		6							
	デザインの発想と表現	○	6.0	102			6						
	人間工学		3.0	51			3						
	WEB デザイン		3.0	51			3						
	材料学		2.0	34				2					
	工業デザイン史		3.5	51				3					
	芸術デザイン史		3.5	51				3					
	建築構造		2.0	34				2					
	照明デザイン		2.0	34					2				
	機構学		2.0	34					2				
	グラフィックデザイン		2.0	34						2			
電子工学		2.0	34						2				
他学科選択科目		2.0	34										
専門課程	環境デザイン (英語)		3.0	51						3		24.0	
	視覚伝達デザイン (英語)		3.0	51						3			
	デザイン基礎		6.0	102			6						
	製品デザイン基礎	○	8.0	136				8					
	製品デザイン (1)	○	8.0	136					8				
	製品デザイン (2)	○	8.0	136						8			
実践教育	CAD 実習	○	1.0			2						29.0	
	美術実習	○	2.0				2						
	金工実習	○	2.0						2				
	デザイン演習	○	2.0							6			
	卒業研究	○	20.0								20		
	軍事訓練	○	2.0			2							

(卒業単位 166.5)

資料：「建築与城市規画学院培養計画」（同済大学教務処、2007年）掲載内容に基づき、黒田・佐井が翻訳、一部編集・加工した。

本稿は、平成20年度デザイン学部長特別研究費「地方都市におけるデザイン振興に関する日中比較文化研究(その1)」を得て実施した調査の成果をとりまとめたものである。今回の杭州・上海訪問調査等を通じて、変化急な中国の大学デザイン教育について、まずは一つの目安を得ることができた。より具体的なデザイン教育動向、地域産業との連携、日中デザイン交流の可能性などについては、調査研究を継続の予定である。

注及び参考資料

- 1) 中国の大学数、学生数等については、中華人民共和国国家統計局編「中国統計年鑑2007」(中国統計出版社)ほか(各年版)を参照にした。
<http://www.stats.gov.cn/tjsj/ndsj/2007/indexch.htm>
- 2) 「中国の科学技術関連施策」(独立行政法人科学技術振興機構 中国総合研究センター) <http://crds.jst.go.jp/CRC/plan.html> など
- 3) 「平成19年度 学校基本調査」(文部科学省)による http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/001/index01.htm
H9→H19で、大学数586→756、学部学生数240.0→251.4万人、入学者数58.6→61.3万人、教員数14.1→16.3万人である。
- 4) 陳曉蕙(中国美術学院設計芸術学院工業設計系教授)
- 5) 「中国デザインビジネス事情(上海・広州)」(財団法人国際デザイン交流協会、2004年3月)、260p、張宝光(東華大学機械工程学院工業設計系副教授)による
- 6) 前掲書5)、299p、許平(中央美術学院設計学院副院長教授)による
- 7) 張遠帆(中国美術学院造形芸術学院版画系教授)訪問インタビュー調査による
- 8) 浙江省人民政府サイトより
<http://www.zhejiang.gov.cn/zjforeign/japan/index.html>
- 9) 前掲書5)、299p、許平による
- 10) 前掲書5)、293p、楊向東(広東工業大学工業デザイン学部教授)による
- 11) 張遠帆 訪問インタビュー調査による
- 12) 陳曉蕙 訪問インタビュー調査による
- 13) 前掲書5)、260p、張宝光による
- 14) 同済大学サイト (<http://www.tongji.edu.cn/>)、同済大学建築与城市規画学院芸術設計系パンフレット、朱鐘炎(同済大学建築与城市規画学院芸術設計系教授)訪問インタビューなどを参照した。なお、本稿では、日本の大学の学部に対応する学院はそのまま表記し、系を学科、系以下の区分については専攻、領域と表記した。
- 15) 「建築与城市規画学院培養計画(Curriculums for Undergraduates)」(同済大学教務処、2007年)を参照した。なお、科目区分について、通識教育と基礎過程、学科基礎過程、專業特色過程、実践環節を、それぞれ一般共通、基礎課程、専門課程、実践教育とした。



写真1 中国美術学院・南山校区(杭州市)
(佐井撮影)



写真2 中国美術学院における
インタビュー風景(佐井撮影)
(左より黒田宏治、張遠帆教授、陳曉蕙教授)



写真3 同済大学建築与城市規画学院
（上海市）（佐井撮影）
（50年代モダン建築スタイルの旧校舎）



写真4 同済大学建築与城市規画学院
（上海市）（佐井撮影）
（現代東西融合建築スタイルの新校舎）